

2017年10月6日

ARQ 197 (チバンチニブ)の開発中止について

協和発酵キリン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:花井 陳雄、以下「協和発酵キリン」)は、開発中のARQ 197(一般名:チバンチニブ)の開発中止を決定しましたので、お知らせいたします。

本剤はArQule社が創製したc-Metを標的とする経口投与の低分子化合物です。協和発酵キリンは、2007年4月27日にArQule社との間で、チバンチニブの日本ならびにアジアの一部地域(中国、韓国および台湾)での独占的開発・販売権を取得するライセンス契約を締結しています。

本契約に基づき、これまで協和発酵キリンは胃がん、非小細胞肺がん、肝細胞がんを対象とした臨床試験を実施してきましたが、いずれも期待された成果を得られなかったことから本剤の開発中止を決定しました。

協和発酵キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

c-Met について

c-Met は受容体型チロシンキナーゼの略称です。c-Met 受容体のチロシンキナーゼが異常に亢進すると、癌細胞の増殖、生存、血管新生、浸潤、転移など様々な細胞内シグナル伝達に与与することが知られています。